防災・減災対策

録画配信

つぶやき
母乳バンクは小さな命を支える制度です！

公明党
三輪（みわ） なお子（こ） 議員

Q 災害時の安否確認システムの活用は

A 国の動向を注視し、研究していく

議員　避難所の環境整備において、能登半島地震でも高く評価されていたトイレカーやトレーラートイレの活用について伺う。

危機管理監　他自治体の動向も注視し、避難所の衛生環境の向上について、検討していく。

議員　温かい食事の提供における移動式キッチンカーの導入について市の考えを伺う。

危機管理監　国において移動式キッチンカーなどを被災地に派遣できる体制を整えるため、車両をあらかじめデータベース化する取り組みが開始した。この動向を注視するとともに、民間事業者との協定締結も引き続き検討していく。

議員　台風や豪雨の際、自主的に避難行動をとる人が増えている。市民の命を守るため、ＬＩＮＥなどのＩＣＴツールなどを活用した「安否確認システム」の導入について見解を伺う。

危機管理監　国の動向を注視し、研究していく。

その他の質問

Q 母乳バンク制度の周知の取り組みは。

A 現在実施しているポスターなどによる周知のほか、母子健康手帳の交付時や乳幼児健診などの機会に周知できるよう検討する。

母乳バンクチラシ
（一般社団法人
日本財団母乳バンク）

女性の体と社会

録画配信

つぶやき
プレコンセプションケア※を知っていますか

戸田の会
辺見（へんみ） 智子（ともこ） 議員

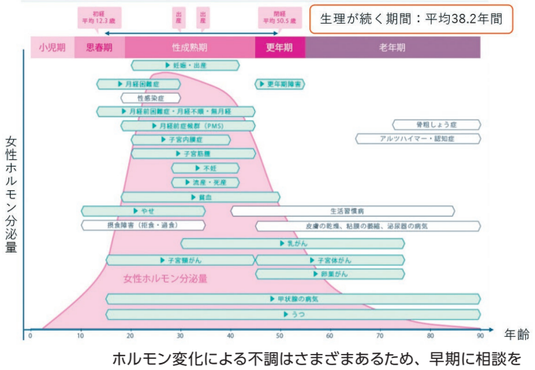
Q 体の変化における支援や周知は

A 医療機関への案内など情報提供を検討

議員　女性の社会進出が進む一方で、体の変化や負担に対する社会や制度は十分な配慮がなされていない。生理や妊娠･出産、更年期などライフステージに伴う健康課題が「個人の努力」として声を上げにくい状況が続いている。月経に伴う不調は多くの女性が抱える課題（月経困難症やＰＭＳ※など）の一つ。産婦人科などで低用量ピルの処方が治療につながるが、ピルは「避妊薬」のイメージが強く社会として正しい理解が進んでいない。月経困難症などで悩む人への医療支援の導入や正しい理解を促す周知啓発は。

健康福祉部長　ピルは医師の診察と処方が必要な医療用医薬品であり、月経困難症などの治療目的で処方された場合には保険適用となる。周知啓発は、個人差の大きいテーマであるため一律の推奨は困難だが、ピルや漢方薬が悩みの軽減につながる選択肢の一つであることや、医療機関への相談を促す情報提供の在り方について検討する。

議員　健康課題へ大切なことは自身の体の状態を日頃から知っておくこと。若い世代を含む幅広い世代が検診の重要性を理解し、子宮がん検診など定期的に受診することで早期発見につながるよう、周知啓発の強化を求める。



ホルモン変化による不調はさまざまあるため、早期に相談を

防災訓練と災害対応

録画配信

つぶやき
公園の「かまどベンチ」をもっと活用しよう！

戸田の会
野澤（のざわ） 茂雅（しげまさ） 議員

Q 実働版HUG※訓練の意義は

A 災害時の対応を決めていく経験をすることが目的

議員　①実働版ＨＵＧ訓練の意義について②避難所利用計画における一般教室の利用は③住民版防災訓練「会場」の設定基準は④公園・広場のかまどベンチの設置状況は。

危機管理監　①自主防災会と市が協力して、連携しながら対応を決めていく経験をすることが目的②円滑な授業の開始に支障が懸念されるため、一般教室を使用せずに特別教室を使用する③自主防災会や訓練参加者に希望を聞き、決定していく。

環境経済部長　④地域の意見を踏まえ、市内の公園･広場のうち、７カ所に 10 基のかまどベンチを設置している。

議員　①カード上で想定できる事象に関しては、訓練時に急遽考えるのではなく、事前に取り決めと準備を行い、それを確認する場にしていただきたい②スフィア基準※や水害時対応を考慮すると、一般教室も想定した部屋割りにするべき③自分達が住んでいる地域の避難所において防災訓練を行うのがベスト。小学校だけでなく、中学校や公共施設での防災訓練開催を希望する④かまどベンチを利用した防災イベントは「共助」として絶大な効果がある。今後、地域の自主運営に対する支援を推進していただきたい。

かまどベンチ防災イベント

地球温暖化

録画配信

つぶやき
市民の声をまっすぐ市政に！

日本共産党戸田市議団
花井（はない） あきこ 議員

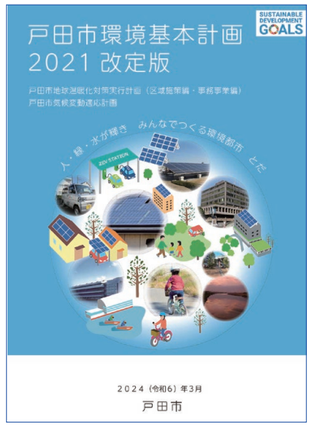
Q 脱炭素社会の実現に向けた、現状と今後は

A 公共施設などを対象とし削減に取り組む

議員　環境基本計画 2021 改定版における 2050 年脱炭素化に向けた達成状況と今後の取り組みは。

環境経済部長　最新の実績（基準年度比）として、市域全域で 18%、公共施設で８％の削減率を記録している。今後、公共施設などを対象とする削減目標の達成に向けて取り組みを進めていく。

議員　広報・ホームページなどでの達成状況の見える化、国への対策強化の要望、毎年の検証をしっかりと行い取り組みのスピードを上げるよう強く要望する。



戸田市環境基本計画 2021
改定版

Q 公立学童保育室の充実を

A 今後の需要を引き続き調査・研究していく

議員　預かり時間の拡大、長期休みの保育内容の充実を要望する声があるが、市の見解を伺う。

こども健やか部長　預かり時間の拡大は、今後の需要や社会情勢などを見極めながら、引き続き調査･研究していく。各学童保育室はできる範囲で工夫し、保育を行っている。引き続き、民間学童保育室の取り組みなどを参考に充実を図っていく。

その他の質問

Q 提供する子育て支援の周知方法の改善は。

A こども･若者総合サイトを立ち上げる予定。

※プレコンセプションケア…将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと
※ＰＭＳ…Premenstrual Syndrome（月経前症候群）の略

※ＨＵＧ…「Hinanjo（避難所）」、「Unei（運営）」、「Game（ゲーム）」の頭文字をとったもので、実践的な避難所運営を疑似体験できる。
※スフィア基準…災害の影響を受けた人が尊厳ある生活を送るための人道支援における国際的な最低基準